1学年通信

鳳高校

第　３１　号
2020.2.28（金）
北海道小樽潮陵高等学校
令和元年度第1学年団

2年生0学期終盤をどう過ごすか1

－１年生の満点総復習－

新型コロナウィルス対応のため落ち着かない日々が続いています。明後日には卒業式を迎えますが、皆さんの列席は見送られます。先生たちも経験したことのない３月の始まりとなります。

さて、今日は定期考査終了と同時に１月模試の結果を返却しました。１学年全体の結果は次の通りです。

	国語	数学	英語	三教科
平均SS	54.7	52.6	53.9	54.2
平均点	49.6	37.5	42.0	110.4

平均SS（平均偏差値）の数字は、本校の先輩や他校の同学年からみると、まだまだ努力をすべきことを示しています。

また、各教科の平均点と下に示した進研模試の作成基準（ベネッセ模試報告会より）からすると１年生の多くの生徒が

教科書の基礎が身に付いていない

ことがわかります。では、定期考査が返却されるまで時間のあるこの時期に何をすれば良いのか。

進研模試
　35点（各大問（1）が解ける程度）→偏差値50。
　70点以上→教科書の基礎が身に付いている。
　北大を目指す→6割弱の得点をとり続ける。
　東大・京大を目指す→7割以上をとり続ける。
大学入試問題
　基礎問題　40%～50%→ここで差が付く
　応用問題　20%～30%
　難　　問　20%～30%

スタディーチャージ

３月９日(月)にはスタディーサポートを実施します。スタディーサポートの特徴のひとつは、ＧＴＺがＳ１～Ｓ３だと「難関大合格レベル」、Ａ１～Ａ３だと「国公立・中堅私立大合格レベル」と、今の学力がわかることです。**受験効果を高めるため活用BOOKの38ページ後にスタディーチャージが掲載されています。**これに取り組みましょう。国数英の先生から激励の言葉も頂いています。

国語科
　今までの学習の総チェックをする、最大最高のチャンスです。必ず自力で問題を解き、解答・解説、文法書・句法書などで、ひとつひとつ確認をしていきましょう。その取り組みが、次に大きな成果をもたらしてくれるでしょう。コツコツやることに優るものはありません。

数学科
　各単元の基礎事項が並んでいるので、1年生の総復習として活用してください。これらは完璧に仕上げておく必要があります。

英語科
　英語問題の解答所要時間は2時間くらいです。基礎から標準レベルの問題設定ですので、2年生になる前に基礎を固めるのに役立てましょう。間違えた問題の復習を大切にして満点復習、そして反復学習で、良い2年生のスタートへとつなげましょう。

本日は生徒用ロッカー(4階廊下)を空にしてください。
　＊部活ロッカーも整理してください。
下足ロッカー(生徒玄関)も本日に整理し、上靴のみとしてください。